

令和3年度 第1回監査委員会 議事録

開催日時：令和3年6月15日（火）15時～16時

会 場：聖マリアンナ医科大学病院本館4階 第二会議室

出席者：（監査委員）上原委員長、小林委員、益子委員、相馬委員、中尾委員

（病院関係）大坪病院長、峯下副院長・医療安全統括会議議長、安田医療安全管理室長、瀬上副室長、井上麻酔科部長、坂上薬剤部参与、内川主幹、村主幹、梶ヶ谷師長、龜山主査、望月主査、前原放射線管理室長、森画像センター技術課長、水戸主査、北原医療安全管理室課長、仲田医療安全管理室課長補佐、根津事務部長
（進行）桑原（事務部管理課）、矢部係長

（議事）

特定案件に対するヒアリングについて

医療安全統括会議議事要旨に記載された事案のうち、監査委員が選択した事案について、関係者からのヒアリングを行った。

今回は令和2年度第10回（2021年1月13日）から第12回医療安全統括会議（2021年3月10日）の範囲から5件の質問と、令和3年度第1回医療安全統括会議（2021年4月14日）から5件の事案を選択した。

（病院側より）

選択された事案についての詳細な状況、問題点の抽出、整理、今後に向けての対策等の説明がなされた。

（監査委員より）

- ・ 内服薬の摂取は、患者の管理能力に依るところが大きいと思料する。自己管理する必要性についても検討に含めていただきたい。
- ・ 取違い事故は、過去に目や薬などの事例の報告がある。患者取り違いには、継続して再発防止に取り組んでいただきたい。
- ・ 病院で使用する薬剤は、製品の容器に使用法までは記載されておらず、病院のルールや、学会のマニュアル等に沿って使用されている。頻用される薬剤を希釈する場合、希釈率の間違いにより、新たに起こりうるインシデントを排除していく対応策が望ましい。
- ・ スワングアンツカテーテル、中心静脈カテーテルは、かなりの危険を伴う手技であるように思う。周知徹底して経験の豊富な方が必ず立ち会う形での手術と手技を是

非お願いしたい。

- ・ GHCU では、診療科を限定せず患者を受け入れ、スタッフは術後等の集中治療を専門とする看護師が集まっている。訓練された高い技術と安全体制が敷かれた部署で起こった案件であり、再発防止に努めていただきたい。
- ・ 心臓の手術後にクリニカルエンジニア部等交えたカンファレンスを開き、アクシデントが起こらないよう、振り返りが行われている。対応策が検討され、実施に移されていることを了解した。
- ・ 臨床検査部での梅毒検査について。TP 抗体と RPR をパニック値扱いして、両方陽性だった場合は診療科にフィードバックし、感染制御部等々にコンサルトするよう改善がなされている。対応策が検討され、実施に移されていることを了解した。
- ・ 事故調査委員会の事故調査報告書は、出来上がり次第、拝見させていただきたい。

2. 医療安全管理室より、「診療放射線に係る安全管理について」

2019年3月11日に医療法施行規則の一部を改正する省令（平成31年厚生労働省令第21号）が公布され、2020年4月1日に施工され診療用放射線の安全管理体制整備について、下記の内容が求められている。

1. 「医療放射線安全管理責任者」の配置
2. 医療放射線の安全管理のための指針を策定
3. 医療放射線に係る安全管理のための職員研修の実施
4. 放射線診療を受ける者への情報共有
5. 保有装置に係る医療被ばくの線量管理・線量記録

監査委員の意見

令和2年度から、診療用放射線の技師等の位置付けを明確にしなければならない法改正があった。医療放射線安全管理者を配置し、医療安全統括体制の一部に組織されたことを確認した。新たな安全管理体制が整備されたが、現場の運用としては、問題点を洗い出し、対策を講じていくことが活動の原点であると思う。経験の積み重ねに取り組んでいただきたい。

中尾委員より、今年度からは医療安全管理に関する3つの担当部門会議と医療安全統括会議に年1回程度陪席させていただきたいと発言があり、委員長は同委員が陪席することを了承した。

3. 大学病院より

新病院への建替えが進む中、特定機能病院として、品質の高い安全な病院を目指して、医療安全管理室をはじめ努力して取り組んでいる。監査委員のご質問にお答えす

ると共にご指導をお願いしたい。

スワンガンツカテーテルを使用した手技による合併症については、院内調査委員会を立ち上げ、外部委員を交えて審議していきたい。「診療放射線に係る安全管理について」の組織図については、地道に問題点を洗い出していくことに取り組んでまいりたい。

4. その他

第2回監査委員会は2021年9月1日（水）開催予定。